



離れたくないまち“あっけし”実現プロジェクト



R 5 目標総額：77,000,000円



厚岸町は、これまでも1993年釧路沖地震(M7.5)、1994年北海道東方沖地震(M8.2)、2003年十勝沖地震(M8.0)といった大規模地震では、たびたび大きな被害が発生しており、令和3年7月に北海道が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の津波浸水想定では、最大津波高は20.2m、津波浸水区域面積は46.72km²(4,672ha)とされています。また、令和4年7月に北海道が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定では、津波による死者数は最大で3,600名、死者と重傷者を除いた避難者数は最大3,300名となっています。

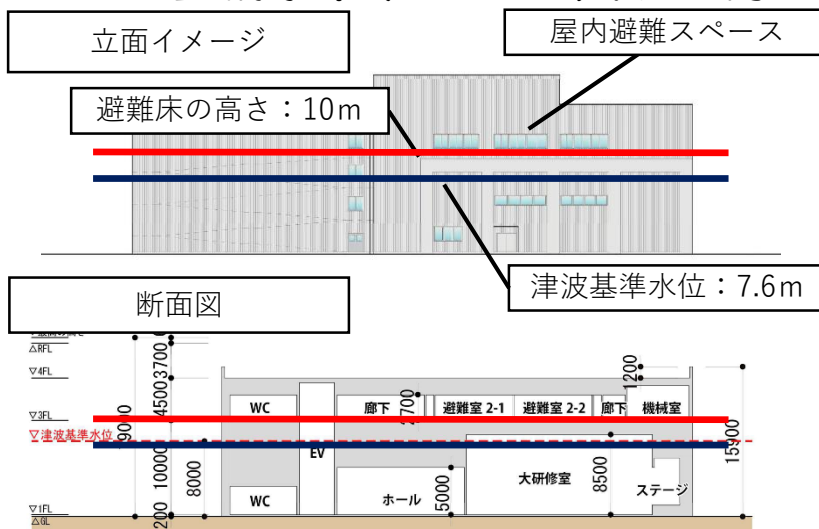
しかし、浸水想定区域内の地区において、居住地区内に高台や津波避難場所がなく、避難に時間を要する区域については、住民の高齢化が進んでいる影響もあり、津波到達時間までに避難を完了することが困難な状況にあることから、沿岸地区を中心に津波から迅速で円滑な住民の避難を実現させるために必要な避難施設の整備が急務となっています。



町民の安全で安心な暮らしはもとより、地方創生の実現を図る本事業を是非ご支援ください!!

津波から命を守る避難施設の整備が急務です!!

(仮称)厚岸町防災交流センター整備事業(R5~R7)約28億円



～私たちから企業様へのお願い～

避難困難地域に住み続ける私たちの命と暮らしを守ってください!!



まちの様子は公式YouTubeをご覧ください!! ↑

生まれ育ったふるさとに住み続けることは地方創生の推進に大きく寄与する重要な施策の一つです。ブランドカキ「カキえもん」「弁天かき」や「厚岸ウイスキー」などの特産品を全国に送り届け続ける厚岸町を守るため、本事業へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

一同: 私たちの安全で安心な暮らしを守ってください!!



～ご寄附をいただいた企業様へのお礼～

新しい施設が完成したあかつきには、完成写真と併せて地区住民から直接、お礼のお手紙を差し上げたいと考えております。もちろん厚岸町のホームページや広報誌でもご紹介させていただきます。